

にしはらほくぶしゅうらくきょうてい
西原北部集落協定（松川村）

・組織の活動面積	A=	28.1	ha
・組織の構成員数	約	60	人

組織形態	共同活動 □	中山間直接支払 ■	向上活動 ■
取組開始年度		平成13年～	平成23年～

構成員	中山間地西原北部集落、芦間川北部水利組合、西原第1ポンプ組合、西原第2ポンプ組合、西原南林ポンプ組合
-----	--

- ・西原北部集落は、全国的に有名な神戸原扇状地裾野の北寄りに位置し、終戦後から昭和30年代の食糧増産計画による緊急開拓事業や開田事業、更に昭和40年代の第1次農業構造改善事業によって山林原野から農地へと転換された集落である。
- ・また、開田後40数年経過した、用水路や排水路の整備、未舗装道路による生産物の荷傷みなど課題も多い。
- ・西原北部集落では、構成員による水路清掃や、道路の補修、草刈作業等により環境保全の活動に取り組んでいく。

西原北部地域に存する水路・農道等の施設の長寿命化を図る

平成23,24年度事業として、未舗装農道舗装工事、集水柵新設工事、集水柵ゲート補修工事などを行った。

道路舗装・・・80m(23年)、84m(24年)
集水柵新設工事・・・1ヶ所(23年)
集水柵ゲート補修工事・・・1ヶ所(23年)
U字溝購入・・・21本(24年)

今後も道路舗装や水路の補修工事を継続して行う予定です。

集水柵新設工事



集水柵ゲート補修工事



道路舗装



山際の水路清掃



ポンプ揚水の水路清掃



山中水路の草刈作業



毎年定期の水路清掃や草刈り作業により、農地の環境保全に取り組んでいる。

水路清掃・・・4月

草刈作業・・・7月

構成組織は下記の様な取組も行っている

近年山際にてサル・イノシシ等による農作物被害が増加していることから、平成23年度鳥獣害防止総合対策交付金を活用して、侵入防止柵を設置致しました。

電気柵・・・山際に約1000m設置

山際に電気柵設置



電気柵用ソーラパネル



道路横断電気柵設置

